

男子			
50kg級	第1位	白川剣斗	鳥工
55kg級	第1位	尾西大河	鳥工
	第2位	増山晴空	鹿高
60kg級	第1位	小野正之助	鳥工
	第2位	宮崎海斗	鹿高
	第3位	福地慧太	鳥工
	第4位	坂本直也	唐青
65kg級	第1位	須田宝	鳥工
	第2位	柿崎寛	鳥工
	第3位	石橋航希	鳥工
	第4位	牧山祥	唐青
71kg級	第1位	片田皓之	鳥工
	第2位	渕野結生	鹿高
80kg級	第1位	飯塚康太	鳥工
	第2位	中村響希	鳥工
92kg級	第1位	陣内政人	鳥工
125kg級	第1位	藤田賢匠	鳥工

令和3年度  
佐賀県高体連

## レスリング専門部報告書

R2.11～R3.10

中止：ひむか杯・九州新人戦（福岡）・三重とこわか国体

本年のレスリング専門部については、県勢初めての春・夏の全国大会団体優勝という快挙を鳥栖工業高校が成し遂げた。また、個人戦においても、鳥栖工業高校の小野正之助選手が全国選抜大会・全国高校総体で優勝。尾西大河選手も全国選抜大会3位・全国高校総体3位・全国グレコローマン選手権大会優勝など全国大会での活躍が多く見られた。

今年度については、新型コロナウイルスの感染拡大のこともあり、中止となった大会もいくつかあった。また、普段の練習についても制限されることが多い状況であったが、選手はしっかりとモチベーションを保ち、今できることを精一杯やりながら大会に備えていた。

選手の育成については、協会、OBが中心となり、ちびっ子の指導が活発に行われており、全国で優勝するなど大きな成果を上げている。小中学生の台頭がめざましく、2024年の佐賀国スポを念頭に盛り上がり、今後もおおいに期待したい。

ここでは、令和2年11月から令和3年10月までの各大会における、県内選手の活躍について記す。

また、高体連専門部の役員については、専門部長に鳥栖工業高校長の代居正巳先生、そして専門委員長は、長年にわたり専門委員長をしていただいた橋本喜晴先生に代わり、唐津青翔高校の田代大貴が行うこととなった。下記に今年度の高体連の役員を示す。

専 門 部 長	代居 正巳 (鳥栖工業高校長)
専 門 委 員 長	田代 大貴 (唐津青翔高校)
専 門 委 員	中村 百次郎 (鹿島高校・監督)
専 門 委 員	小柴 健二 (鳥栖工業高校・監督)
専 門 委 員	徳永 智康 (鳥栖工業高校)

令和2年度 (2020年度)

### 佐賀県高等学校レスリング新人選手権大会

日時：R2.11.8  
場所：鹿島高校

今年の新人戦は、学校対抗戦では鹿島高校、鳥栖工業高校の2校の参加、個人対抗戦では鹿島高校、鳥栖工業高校に加え、新たに唐津青翔高校から参加があった。大会結果は、学校対抗戦では鳥栖工業高校が鹿島高校を6-1で下し優勝。個人対抗戦では、鳥栖工業高校が8階級すべての階級にわたって優勝し、盤石の強さを見せる結果となった。令和3年2月に実施される全九州高等学校新人選手権大会に学校対抗戦は1、2位のチーム、個人対抗戦で県5位まで、同校同階級での選手は2名まで参加できる。

<学校対抗戦>

鳥栖工業高校○6-1※鹿島高校

<個人対抗戦>

令和2年度

風間杯 全国高等学校レスリング選抜レスリング大会  
(第64回風間杯全国高等学校選抜レスリング大会)

日時：R2.3.24～3.26

場所：新潟東総合スポーツセンター

この大会には、佐賀県から学校対抗戦に鳥栖工業高校が、個人対抗戦には鳥栖工業高校から8階級に1名ずつ参加することとなった。学校対抗戦では鳥栖工業高校が準々決勝まで7-0・6-1という圧巻の強さで勝ち上がった。準決勝では秋田・秋田商業高校を5-2で下し決勝戦に進んだ。決勝戦でも勢いをそのままに三重・いなべ総合学園を5-2で下し、佐賀県勢初の団体日本一に輝いた。個人戦では白川剣斗(鳥工)が51kg級で健闘し、優勝。小野正之助(鳥工)も60kg級で自力を發揮し優勝した。尾西大河(鳥工)は準決勝で敗れ3位、飯塚康太(鳥工)は準々決勝で敗れ5位だった。

<学校対抗戦> 優勝

2回戦	鳥栖工	○-×	八戸工大一(青森)
3回戦	鳥栖工	○-×	八海(新潟)
準々決	鳥栖工	○-×	網野・丹後緑風(京都)
準決勝	鳥栖工	○-×	秋田商業(秋田)
決勝	鳥栖工	○-×	いなべ総合(三重)

<個人対抗戦>

51kg級・・・優勝

2回戦	白川剣斗	鳥工	○-×	杉江佑太	高松農業
3回戦	白川剣斗	鳥工	○-×	山城快陽	北部農林
準々決勝	白川剣斗	鳥工	○-×	勝目大翔	飛竜
準決勝	白川剣斗	鳥工	○-×	加藤敦史	館林
決勝	白川剣斗	鳥工	○-×	小川大輝	八戸工大一

55kg級・・・3位

2回戦	尾西大河	鳥工	○-×	芹沢敬士	網野・丹後緑風
3回戦	尾西大河	鳥工	○-×	石原弘幸	玉名工業
準々決勝	尾西大河	鳥工	○-×	向田旭登	花咲徳栄

準決勝	尾西大河	鳥工	×—○	西内悠人	高知南
-----	------	----	-----	------	-----

60kg 級・・・1 位

2 回戦	小野正之助	鳥工	○—×	加藤永之進	足利工業
3 戦戦	小野正之助	鳥工	○—×	富山悠真	霞ヶ浦高校
準々決勝	小野正之助	鳥工	○—×	松田來大	網野・丹後緑風
準決勝	小野正之助	鳥工	○—×	宮原健史郎	秋田商業
決勝	小野正之助	鳥工	○—×	五味虹登	甲府城西

65kg 級

1 回戦	須田宝	鳥工	○—×	磯上遥也	鳥取中央
2 戦戦	須田宝	鳥工	○—×	木原凌介	新潟中央
3 回戦	須田宝	鳥工	×—○	荻野海志	埼玉栄

71kg 級・・・棄権

80kg 級・・・5 位

2 回戦	飯塚康太	鳥工	○—×	金谷龍光	高岡向陵
3 戦戦	飯塚康太	鳥工	○—×	渡邊虎汰郎	八海
準々決勝	飯塚康太	鳥工	×—○	五十嵐文彌	埼玉栄

92kg 級

1 回戦	陣内政人	鳥工	×—○	竹本侑生	笠岡工業
------	------	----	-----	------	------

125kg 級

2 回戦	藤田匠賢	鳥工	×—○	BATBAYAR NAMBAR DAGVA	日体柏
------	------	----	-----	--------------------------	-----

令和 3 年度 (第 59 回)

佐賀県高等学校総合体育大会 レスリング競技大会

日時:R3.5.29

場所:鹿島高校

今回の県高校総体は、

<学校対抗戦>

**優勝・・・鳥栖工業高校**

<個人対抗戦>

男子				
51kg 級	第 1 位	白川剣斗	鳥工	
	第 2 位	増山晴空	鹿高	
55kg 級	第 1 位	尾西大河	鳥工	
	第 2 位	福地慧太	鳥工	
60kg 級	第 1 位	小野正之助	鳥工	
	第 2 位	河野兼多朗	鳥工	
	第 3 位	宮崎海斗	鹿高	
65kg 級	第 1 位	須田宝	鳥工	
	第 2 位	柿崎覚	鳥工	
	第 3 位	石橋航希	鹿高	
71kg 級	第 1 位	片田皓之	鳥工	
	第 2 位	中村響希	鳥工	
	第 3 位	湊野結生	鹿高	
80kg 級	第 1 位	飯塚康太	鳥工	
92kg 級	第 1 位	甫木元起	鳥工	

	第 2 位	内田皇輝	鳥工
120kg 級	第 1 位	藤田匠賢	鳥工
女子			
62kg 級	第 1 位	大鋸楓華	鹿高

令和 3 年度

国民体育大会 佐賀県選考会

日時:R3.6.6

場所:鹿島高校

今回の国民体育大会は、9 月 11 日から 9 月 14 日まで三重県・津市で行われる、とこわか国体に参加する選手を選考するため、予選会を実施した。国体については、フリースタイル・グレコローマンスタイルと分かれており、それぞれのスタイルの代表選手を選考するため、両スタイルの試合を行った。また、フリースタイルについては、中学 3 年生の出場も認められているため、県内の中学 3 年生も大会に参加した。国体代表選手の選考あたっては、今大会の結果だけでなく、これまでの実績、合宿の状況を見て決定される。

<フリースタイル>

51kg 級	第 1 位	白川剣斗	鳥工
	第 2 位	中島拓摩	鳥栖クラブ
	第 3 位	怡士悠馬	鳥栖クラブ
55kg 級	第 1 位	尾西大河	鳥工
	第 2 位	前田太晟	鳥栖クラブ
60kg 級	第 1 位	小野正之助	鳥工
	第 2 位	松原拓郎	鳥栖クラブ
	第 3 位	河野兼多朗	鳥工
65kg 級	第 1 位	須田宝	鳥工
	第 2 位	柿崎覚	鳥工
	第 3 位	石橋航希	鹿高
71kg 級	第 1 位	片田皓之	鳥工
	第 2 位	白川大虎	鳥栖クラブ
	第 3 位	中村響希	鳥工
80kg 級	第 1 位	飯塚康太	鳥工
	第 2 位	三浦修矢	鳥栖クラブ
	第 3 位	大江玲織	鳥工
92kg 級	第 1 位	甫木元起	鳥工
120kg 級	第 1 位	藤田匠賢	鳥工
女子			
62kg 級	第 1 位	大鋸楓華	鹿高

<グレコローマンスタイル>

51kg 級	第 1 位	白川剣斗	鳥工
	第 2 位	増山晴空	鹿高
55kg 級	第 1 位	尾西大河	鳥工
60kg 級	第 1 位	小野正之助	鳥工
	第 2 位	河野兼多朗	鳥工
65kg 級	第 1 位	須田宝	鳥工
	第 2 位	柿崎覚	鳥工
	第 3 位	石橋航希	鹿高
71kg 級	第 1 位	片田皓之	鳥工
	第 2 位	中村響希	鳥工
80kg 級	第 1 位	飯塚康太	鳥工

92kg級	第1位	甫木元起	鳥工
120kg級	第1位	藤田匠賢	鳥工
女子			
62kg級	第1位	大鋸楓華	鹿高

令和3年度  
全九州高等学校レスリング競技大会

日時:R3.6.19  
場所:福岡県福岡市(アクション福岡)

この大会は、県総体で準優勝までの団体・個人に出場権が与えられる。しかし、今年度については新型コロナウイルスの感染拡大により、すでに全国高校総体への出場が決定している男子(学校対抗戦・個人対抗戦)については中止となり、女子のみの大会となった。男子については例年、今大会で全国総体のシードを決めていたが今年度については大会が中止になったため、過去の実績等を踏まえてシードを決定することとなった。女子については、今大会の3位以内の選手に全国総体の出場権が与えられる。佐賀県からは、鹿島高校から1名の出場となった。結果としては2戦して2敗であったが、出場が3名であったため全国大会出場の権利を得ることができた。

<個人対抗戦(女子)>

62kg級・・・3位(リーグ戦)

1回戦	大鋸楓華	鹿高	×-○	東佐和	三井
2回戦	大鋸楓華	鹿高	×-○	遠藤幸菜	津久見

2021年全国高校生グレコローマン選手権大会

日時:R3.7.17~7.19  
場所:滋賀県・大津市  
ウカルちゃんアリーナ

この大会は、高校生の大会で唯一のグレコローマンスタイルのみの全国大会である。各県から1階級2名ずつ出場することができる。佐賀県では近年フリースタイル同様に、グレコローマンスタイルの強化にも力を入れており、専門の指導者の方に佐賀県へ来てもらい、技や戦い方の指導をしてもらっている。その成果もあって、今大会では55kg級で尾西大河(鳥工)が優勝を果たした。

51kg級・・・優勝

2回戦	白川剣斗	鳥工	○-×	杉江佑太	高松農業
3戦戦	白川剣斗	鳥工	○-×	山城快陽	北部農林
準々決勝	白川剣斗	鳥工	○-×	勝目大翔	飛竜
準決勝	白川剣斗	鳥工	○-×	加藤敦史	館林
決勝	白川剣斗	鳥工	○-×	小川大輝	八戸工大一

55kg級・・・3位

2回戦	尾西大河	鳥工	○-×	芹沢敬士	網野・丹後緑風
3戦戦	尾西大河	鳥工	○-×	石原弘幸	玉名工業
準々決勝	尾西大河	鳥工	○-×	向田旭登	花咲徳栄
準決勝	尾西大河	鳥工	×-○	西内悠人	高知南

60kg級・・・1位

2回戦	小野正之助	鳥工	○-×	加藤永之進	足利工業
3戦戦	小野正之助	鳥工	○-×	富山悠真	霞ヶ浦高校

準々決勝	小野正之助	鳥工	○-×	松田来大	網野・丹後緑風
準決勝	小野正之助	鳥工	○-×	宮原健史郎	秋田商業
決勝	小野正之助	鳥工	○-×	五味虹登	甲府城西

65kg級

1回戦	須田宝	鳥工	○-×	磯上遥也	鳥取中央
2戦戦	須田宝	鳥工	○-×	木原凌介	新潟中央
3回戦	須田宝	鳥工	×-○	荻野海志	埼玉栄

71kg級・・・棄権

80kg級・・・5位

2回戦	飯塚康太	鳥工	○-×	金谷龍光	高岡向陵
3戦戦	飯塚康太	鳥工	○-×	渡邊虎汰郎	八海
準々決勝	飯塚康太	鳥工	×-○	五十嵐文彌	埼玉栄

92kg級

1回戦	陣内政人	鳥工	×-○	竹本侑生	笠岡工業
-----	------	----	-----	------	------

125kg級

2回戦	藤田匠賢	鳥工	×-○	BATBAYAR NAMBARDAGVA	日体柏
-----	------	----	-----	-------------------------	-----

令和3年度 全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会  
三笠宮杯 第68回全国高等学校レスリング選手権大会

日時:R3.8.21~8.24  
場所:福井県・おおいまち町  
おおい町総合体育館

この大会は5月に実施された県総体の団体・個人の優勝者が出場できる大会である。学校対抗戦では、全国選抜大会の学校対抗戦で優勝した鳥栖工業高校が第1シードでの出場となった。3月に行われた全国選抜大会王者ということもあり決勝までチームスコア5-2以上で勝利をおさめ、堂々の決勝進出となった。決勝戦の相手は昨年度の全国高校総体で対戦し敗退した日本体育大学柏高等学校との対戦となった。ポイントゲッターである55kg・60kg級を中心に、確実に1勝を積み上げていき、チームスコア5-2で優勝を果たした。佐賀県では初の全国高校総体での団体優勝、また九州の高校が全国総体の学校対抗戦で優勝したのは、32年ぶりの快挙ということだった。個人対抗戦でも、尾西大河(鳥工)が3位、60kg級の鳥工が優勝、80kg級の飯塚康太(鳥工)が5位入賞と自力を発揮した。

<学校対抗戦> 優勝

2回戦	鳥栖工	○-×	八戸工大一(青森)
3回戦	鳥栖工	○-×	八海(新潟)
準々決勝	鳥栖工	○-×	網野・丹後緑風(京都)
準決勝	鳥栖工	○-×	秋田商業(秋田)
決勝	鳥栖工	○-×	いなべ総合(三重)

<個人対抗戦>

51kg級・・・優勝

2回戦	白川剣斗	鳥工	○-×	杉江佑太	高松農業
3戦戦	白川剣斗	鳥工	○-×	山城快陽	北部農林
準々決勝	白川剣斗	鳥工	○-×	勝目大翔	飛竜
準決勝	白川剣斗	鳥工	○-×	加藤敦史	館林

決勝	白川剣斗	鳥工	○-×	小川大輝	八戸工大一
----	------	----	-----	------	-------

55kg 級・・・3位

2回戦	尾西大河	鳥工	○-×	芹沢敬士	網野・丹後緑風
3戦戦	尾西大河	鳥工	○-×	石原弘幸	玉名工業
準々決勝	尾西大河	鳥工	○-×	向田旭登	花咲徳栄
準決勝	尾西大河	鳥工	×-○	西内悠人	高知南

60kg 級・・・1位

2回戦	小野正之助	鳥工	○-×	加藤永之進	足利工業
3戦戦	小野正之助	鳥工	○-×	富山悠真	霞ヶ浦高校
準々決勝	小野正之助	鳥工	○-×	松田來大	網野・丹後緑風
準決勝	小野正之助	鳥工	○-×	宮原健史郎	秋田商業
決勝	小野正之助	鳥工	○-×	五味虹登	甲府城西

65kg 級

1回戦	須田宝	鳥工	○-×	磯上遥也	鳥取中央
2戦戦	須田宝	鳥工	○-×	木原凌介	新潟中央
3回戦	須田宝	鳥工	×-○	荻野海志	埼玉栄

71kg 級・・・棄権

80kg 級・・・5位

2回戦	飯塚康太	鳥工	○-×	金谷龍光	高岡向陵
3戦戦	飯塚康太	鳥工	○-×	渡邊虎汰郎	八海
準々決勝	飯塚康太	鳥工	×-○	五十嵐文彌	埼玉栄

92kg 級

1回戦	陣内政人	鳥工	×-○	竹本侑生	笠岡工業
-----	------	----	-----	------	------

125kg 級

2回戦	藤田匠賢	鳥工	×-○	BATBAYAR NAMBARDAGVA	日体柏
-----	------	----	-----	-------------------------	-----

令和3年9月22日

記 専門委員長 田代 大貴 (唐青高)